

かわたれどき 畠中恵

江戸は神田の町名主の
跡取り息子・麻之助。
悪友とともに、
人情のもつれをさばきます！



100万部突破の
「まんまこと」
シリーズ最新作

ご立派なだけの
人生じゃ、
寂しい気も
するんだよね。

2019年
2月15日発売！

定価：1300円＋税 装画・装丁：南伸坊

●この書籍に関するお問い合わせ

株式会社 文藝春秋
〒102-8008 東京都千代田区紀尾井町3-23
プロモーション部
Tel：03-3288-6142
Mail：pr@bunshun.co.jp

畠中 恵 | はたけなか・めぐみ | 高知県生まれ、名古屋育ち。漫画家を経て、2001年『しゃばけ』で第13回日本ファンタジーノベル大賞優秀賞を受賞してデビュー。以来、「しゃばけ」シリーズは大ベストセラーになり、16年には第1回吉川英治文庫賞を受賞した。他に、「若様組」シリーズ、「明治・妖モダン」シリーズ、「つくもがみ」シリーズなど著書多数。本作は、『まんまこと』『こいしり』『こいわすれ』『ときぐすり』『まったなし』『ひとめぼれ』と続く「まんまこと」シリーズ（文藝春秋）の第7弾。

「まんまこと」シリーズ特設サイト↓
<http://hon.bunshun.jp/sp/manmakoto>

どこから読んでも面白い！

- 「結納前にお顔を拝見したくて」麻之助の前に可愛い娘が現れた。——「きみならずして」
- 地本問屋から依頼された、金魚の横顔を頼りにした奇妙な人探し。——「まちがいで探し」
- 生き別れた息子を必死で探し当てた夫婦。だが息子は本物なのか。——「麻之助が捕まった」
- 天狗が出たり金が湧いたり。江戸にはびこる不穏な噂の真相とは。——「はたらきもの」
- 出入りの同心を替えた両替屋。その娘が厄介な相談を持ち込んだ。——「娘四人」
- 洪水で九死に一生を得たお雪は麻之助のことを覚えていなかった。——「かわたれどき」